

神戸慶應倶楽部

2012年11月12日発行

発行人：土井 正孝

発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通8神港ビルヂング625

TEL：078-393-0050

FAX：078-393-0051

E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jpURL：<http://www.kobekeio.org/>

編集人：鳥巢慶太／宮田沙織／天竹清裕

～～9月例会レポート～～

「野球人・鬼嶋一司」

橋本敦子（平1文）

9月21日18時30分より神港ビル7Fにおいて、**鬼嶋一司氏**にスピーチをいただきました。



鬼嶋氏は、慶應義塾大学野球部監督を経て、NHKの高校野球解説者として活躍中です。

冒頭は今夏の甲子園の振り返り。春夏連続優勝を果たした大阪桐蔭の**藤浪投手**（阪神入団）は、高校生活最高のピッチングをみせ、「甲子園のマウンドにたったらきとすごいピッチングをする」と試合前から注目していた無名の投手、桐光学園の**松井投手**は、予告通り「甲子園の一試合奪三振記録を塗り替える」偉業を成し遂げました。

一方、今年のロンドン五輪では、なでしこジャパン佐々木監督の「引き分けでいい」発言や、中国・韓国のバドミントンの無気力試合がありました。フェアプレイが問われたロンドン五輪の話題から慶應義塾野球部の歴史、慶應と宿敵早稲田との校風の違いなどへ話は続きます。

いち早くスポーツ推薦を導入した早稲田大学野球部、スポーツ推薦を導入せず塾員たる資格を優先する慶應義塾野球部。だからこそ「ここで野球がしたい一心で入塾した部員たちのモチベーションは高く、一丸となって強敵早稲田に向かってい

った」と2006年秋の六大学優勝までの道のりが語られました。「早稲田というライバルがいて、慶應が切磋琢磨する。早稲田が慶應を育て、慶應が早稲田を育てる」伝統的な両校の理想的なライバル関係を物語る一面でした。

その中で小泉信三元塾長の名言「スポーツがもつ3つの宝～～練習によって不可能を可能にするという体験／フェアプレーの精神／友～～」や、「Hard Fighter Good Looser～～スポーツは絶対に負けるときがある。どんな負け方をするか、そのとき真価を問われる～～」など、高校野球解説者という立場から常にスポーツの教育的意義を考えておられる鬼嶋氏だからこそそのスポーツを超えたいくつものキーワードがありました。「**鬼嶋氏の解説を聞きながら甲子園を見たい**」来春の甲子園が待ち遠しくなる講演会でした。



～～10月例会レポート～～

「祖父湯木貞一と神戸／ワインと日本料理」

小池剛（平1経）



10月例会は神戸吉兆の女将**平野晴子氏**にお越しいただき「祖父・湯木貞一と神戸／ワインと日本料理」と題してご講演いただきました。

吉兆のお弁当と美味しいワインの試飲付きとあって大盛況。満席の中和服姿の女将がしっかりと**吉兆の創始者貞一氏**の半生を語りました。



湯木家はもともと広島藩の藩士の家柄でしたが、維新を境に廻船問屋に転身。関西方面にかきなどを運ぶうち船上で料理を出すかき船を営むようになり、やがて神戸の花隈に「中現長（なかげんちょう）」の屋号で鰻とかしわを出す料亭を構えました。最盛期はたくさんの人を使い大変繁盛したそうです。そこの跡取り息子として生まれたのが貞一氏。勉強ができたので上の学校に行きたいと父上に談判するもかなわず、15歳から父上の下で料理修行を始めます。財力も人望もあった父上は関西一円から一流の料理人を呼び集め貞一氏の指導に当たさせます。その甲斐あってメキメキと腕を上げた貞一氏は20歳の頃には一人前の料理人に育っていました。でも悩んでもいました。「このまま人参などを相手に一生この仕事をしていくのだろうか？」と。もんもんとして、かの**魯山人**に弟子入りしようと幾度か上京し門をたたくも留守で会えずじまい。後に貞一氏がそのことを魯山人に伝え、もし出会えて

いたら二人の人生はどう変わっていただろうかと語り合ったとか。かくして24歳の貞一氏は「**茶会記**」（松平不昧著）に出会います。茶懐石が取り入れていた日本の季節、旬という「風情」をもっと自分の料理に取り入れ、料理の品格を高めて行こうと決心します。迷いは消え、男子一生の仕事として「**世界の名物 日本料理**」の体現者になるという方向性が決まった瞬間でした。貞一氏は朝はフルーツサンドと紅茶を好んで食する神戸っぽいハイカラな一面があったといい、数々の新しい料理のアイデアを形にしていくにあたって、その進取の気風が大いに発揮されたとのこと。さて、「**吉兆**」の名がはじめて登場するのは昭和5年。貞一氏が所帯を持ったのと前後して大阪の新興に「**御鯛茶処 吉兆**」というカウンターだけの店を出しました。初日こそお客はゼロだったそうですが、大阪の食通が貞一氏の腕と高い志を放って置くわけもなく、次第に評判になり大いに繁盛したそうです。開店時の借入金3,000円（今のおよそ3,000万円）は3～5年で完済したとのこと。ところが、店の隆盛と平行して茶の湯にも没頭した貞一氏はある日、完済した3,000円と同額の茶碗を代金後払いで持って帰って来てしまいます。奥様は文句ひとつ言わずお金を工面し払ってくれたそうです。大店を育て上げた貞一氏の奥様の、肝の据わり方が如何様だったかというエピソードだと思います。

ちなみに「吉兆」の「吉」は上部が「**士**」ではなく「**土**」と書くそうです。料理屋にさむらいは相応しくないからとのこと。

その後、お店は曲折を経て「**平野町**」「**嵐山**」「**高麗橋**」「**東京**」「**リーガロイヤルホテル**」「**船場**」そして「**神戸**」と店舗を広げていきます。貞一氏のDNAは一男四女の子供たちに引き継がれました。平成5年に三宮そごう店がオープンしたとき御年92歳の貞一氏はゆかりの地神戸での開店を大いに喜んだそうです。大きな仕事を成し遂げ、成功の秘訣をたずねられた貞一氏はこう答えたそうです。

「**ひとつは茶道に倣ったこと、もうひとつは夫婦**

仲良くやってきたこと」



後半はワインの試飲と解説。白2銘柄、赤2銘柄を飲み比べながら女将に楽しく解説していただきました。ワイングラスが進むほどに皆さん饒舌にそして声が大きくなり・・・、小生の席は後ろの方だったのですが正直女将の解説は途切れ途切れ、ちゃんとレポートできないことをお詫びします。フランス料理は一本調子でゴールに向かって駆け上がる構成。対して日本料理は上げては下げるの緩急が幾たびか入っている。だからワインはどっちに何が合ってるのかが聞き取れない。しかと聞き取った方、今度教えてください！

ところで現在の「**神戸吉兆**」といえ小生の事務所のビル（明海ビル）の地下一階。普段はちょっと敷居が高く数回しかお邪魔したことがないのですが、今回のように、お料理一品一品に至る先人の人生をかけた大河ドラマを目の当たりにすると、あらためて「**神戸吉兆**」の暖簾をくぐり、ワクワクした気持ち箸を進めてみたいと思うものですよね。ご同意いただける面倒見のいい三田の諸先輩方、吉兆のビルの4階に小生がいることを思い出していただいて、お昼時に携帯を鳴らしていただければ幸いに存じます。

～～第48回慶早ゴルフコンペ～～

「@神戸ゴルフ倶楽部」

野田敬二（昭58経）

平成24年9月24日（金）、神戸ゴルフ倶楽部（PAR61）にて開催されました（最高気温25℃、曇りホールアウト10数分後、雷雨）。

慶應OBの参加者1名、早稲田OBの参加者1

1名、の合計12名が参加しました。

主な結果は次の通りです。

第1位－東田雅俊さん（早・法・昭和45年卒）

アウト41イン46ハンデ26ネット61

第2位－下中幸雄さん（早・商・昭和51年卒）

アウト39イン38ハンデ14ネット63

第3位－岡部信夫さん（早・政経・昭和47年卒）

アウト41イン44ハンデ22ネット63

第9位－野田敬二（慶・経・昭和58年卒）

アウト44イン42ハンデ17ネット69

15番ホール辺りで、大阪方面の上空が怪しくなってきた、最終組がホールアウトすると、10数分後には神戸ゴルフ倶楽部近辺も激しい雷雨に見舞われました。雷雨を横目に見ながら、表彰式と懇親会が開催されました。神戸早稲田倶楽部の東田会長から「早稲田と慶應が共に切磋琢磨して、より高いレベルのゴルフを目指しましょう！」とあいさつがありました。そして「来年9月上旬の神戸ゴルフ倶楽部でのコンペには万障繰り合わせの上、より多くの慶應OBの方々にご参加いただきたい。」と締めくくられました。



同好会だより

【イーゼル会】



《今月の絵》

村田修一（昭39商）

【読書会】

《神戸慶應倶楽部読書会 第24回》

第24回目の学問のすすめ読書会が9月28日（金）に阪本豊起副会長の事務所で行われました。参加者は、堀切、浅沼、福野、阪本、古淵、穴戸、藤井、野田、鈴木の9名でした。

この日の「学問のすすめ」は、第14編「心事の棚卸」「世話の字の義」、第15編「事物を疑て取捨を断ずる事」の2編を輪読しました。なかなか難しい2編です。

堀切先輩から以下の推薦がありました。いずれも経済・政治の旬のテーマを扱っています。読書の秋に如何でしょうか。

「余震 そして中間層がいなくなる」（ロバート・B・ライシュ著 東洋経済新報社）

「さっさと不況を終わらせろ」（ポール・クルーグマン著 早川書房）

「世界の99%を貧困にする経済」（ジョセフ・E・ステグリッツ 徳間書店）

「ザ・クオイツ世界経済を破壊した天才達」（スコット・パターソン 角川書店）

「戦後史の正体」（孫崎亭著 創元社）

「日本の領土問題—北方四島、竹島、尖閣諸島」（保坂正康 東郷和彦著 角川ワンテーマ21）

2部でのお酒の消費量は日本酒3本（大澤弘一 副会長製造の原酒極）にアサヒビール中缶10本でした。

今回の読書会は、平成24年11月21日（水）18：30から、阪本副会長の事務所（**建隆ビルⅡ3階**）で、「学問のすすめ」第16編「手近く独立を守る事」「心事と働と相当すべきの論」から始めます。2部の飲み会の割り勘代3000円と「学問のすすめ」（岩波文庫）を持って気軽においでください。会場は神戸慶應倶楽部のある神港ビル（旧居留地8番）の西隣（東京海上）の更に西隣（6番）の全面ガラスの建隆ビルⅡの3階です。商船三井ビルの東隣です。18：30以降は正面玄関が閉まるので地下通用口からお入りください。但し、お酒とさかなの準備がありますので、前回の出席者以外の方は阪本まで事前にご連絡頂ければ幸いです。

読書会世話役 阪本豊起



児玉先生の健康講座

<<歯とお口の健康# 5

10歳若く写真に写るスマイルトレーニング>>

児玉秀樹 平 22年大学院経営管理研究科卒

神戸慶應倶楽部のみなさん、こんにちは。今回は**若さ**についての話題です。

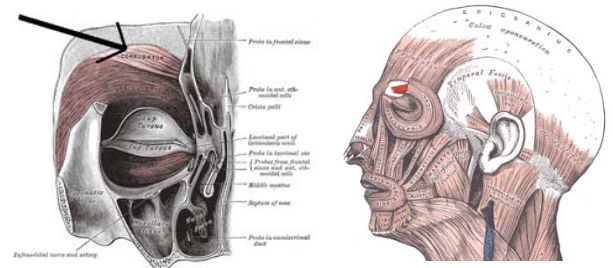
かつて秦の始皇帝は、不老長寿の秘薬を手に入れるために、遙か彼方の日本の和歌山にまで海を渡って使いを出したといわれています。不老長寿は遙か昔からの永遠のテーマともいえます。

多くの女性はお化粧品をして美しく着飾っています。10歳若く写真に写るためにはお肌をお化粧品で着飾ってそれでおしまいなのでしょうか？化粧品の多くは、お肌、つまり皮膚に注目しています。例えば、女性向けの化粧品のCMなどを見ている、美白、ハリ、うるおい、弾力、ベビー肌、マイナス5歳肌、脱乾燥肌など多くのキャッチコピーがあふれています。お肌に必要なのは、ハリでしょうか？うるおいでしょうか？それともSK-II？ドモホルンリンクル？などの化粧品でしょうか？いったい何が必要なのでしょうか？

それは、皮膚そのものも大切ですが、実は、お肌の下に隠れている**筋肉**がとても重要な働きをしているのです。

お顔の下には**顔面表情筋**という小さな筋肉が走行しています。しかもそれが、浅層、深層と何重にも重なっており、およそ30近くもの筋肉があるといわれています。この顔面表情筋は、表情を形作る大切な機能を担っています。そしてこの顔面表情筋があるというのは、二足歩行と同じくらい、他の哺乳類とは違う、人類の大きな特徴だそうです。人類は、他の哺乳類と違い、大昔から言葉や表情で細かいコミュニケーションを取ってきました。ネズミには表情はありません。このコミュニケーションこそが人類に言語をもたらした生みの親だといわれています。ですから人類だけが、顔面表情筋が発達しているのです。

「**性格は顔に出る**」これは昔から言われていることです。怒りっぽい性格の人は、いつも眉間にシワを入れているので、皺眉筋(シュウビキン)という眉間にシワを入れる筋肉が発達しています。つまりテレビの悪役の方は、日ごろから皺眉筋を鍛えているために、悪役っぽい顔になってしまうのです。逆に性格の優しい方は、目じりが下がる筋肉が発達しているのです。



また、顔には、朝の顔と夕方の顔に違いがあることはご存知ですか？夕方になると、顔面表情筋が疲れてきます。そうすると重力に負けて、下がっていきます。つまり疲れた顔、いわゆる老けた顔になっていきます。

つまり、**10歳若く写真に写るためには、お肌のスキンケアだけではだめで、表情筋のトレーニングつまり筋トレが必要ということがお分かりいただけただけでしょうか？**

さて、筋トレの方法ですが、文章で書くと分かりにくいので、一つだけお教えいたします。ネットで検索していただいても色々な方法がでてきます。最近話題になっている「**お笑い芸人のシルクさんの顔面表情筋の筋トレ**」がとてもいいですので検索してみてください。または、次回児玉にお会いいただいたときに直接お聞きください。実習法をお教えいたします。

それでは、代表例として、顔面表情筋の筋トレのひとつ、**スマイルトレーニング**をご紹介します。この方法は審美歯科で行うのもですが、まず、鏡と割り箸を用意してください。そして鏡の前に座り、にっこり笑ってください。**その際、口角(唇の端)が左右均等に上がっているかを確認してみてください(ポイントです!!)**。割り箸を唇と平行にすて確かめると分かりやすいです。ほとんどの人の場合、どちらかが上がっていません。

この口角は笑顔作りに重要な顔面表情筋がつながっています。それは、ほお骨とつながる大頬骨筋と小頬骨筋、そして口角挙筋などです。**これらの筋肉を鍛えることで、笑顔が美しくなります！**鏡を見ながらおよそ10秒間、筋肉を引っ張って笑顔を出し続けてください。10秒後に力を抜きます。結構疲れますよ！！この時、わずかに左右の小白歯が見えると、とても素晴らしい笑顔になります。これをスマイルラインといって、審美歯科ではここを重視します。この筋トレを1日に3回繰り返してください。

これを日々、繰り返してしていただくと、お友達との食事会や、商談などの時、写真を取る一瞬に笑顔が出せるようになります。一度試してみてください。

BRB 放送局 (不定期連載)

<<# 1 とり散歩

マウリッツハイス美術館展に行く>>

BRB編集長 鳥巣慶太 (平12理工)

第1回のBRB放送局は、BRB編集長の私が、神戸市立博物館の「マウリッツハイス美術館展」に行ってきましたので、その模様をご紹介します。

17世紀のオランダ・フランドル絵画の世界的コレクションで知られるマウリッツハイス美術館から約50点が展示されています。今、マウリッツハイス美術館が大規模増築工事のため、これだけの名画の数々が来日できたそうです。

一歩足を踏み入ると、そこは真っ暗な会場。その会場内で絵画ごとに光が当てられ、複数の名画が荘厳に浮かびあがっています。その中を30分~1時間かけてゆっくりと歩きながら、名画にひたります。

私が印象深かった作品として、まずはやはり**フェルメール「真珠の耳飾りの少女」**です。漆黒の背景に浮かび上がる1人の少女が本当に印象的でした。



これ以外にも、印象深い絵画がありました。

ルーベンス「聖母被昇天

(下絵)」。こちらはアント

ワープ聖母大聖堂に描かれた絵の下絵です。フランダースの犬でネロが見たあの絵です。

フランス・ハルス「笑う少年」

。「笑いの画家」と呼ばれるフランス・ハルスの作品です。中世以来、人前で笑うことは「はしたない」とされていたため、16世紀まで「笑い」はほとんど描かれなかったそうです。こちらは17世紀の作品です。



レンブラント「笑う男」

。「光の画家」レンブラントの作品です。おじさんが陽気に笑っています。レンブラントは、顔の表情を通じて「情動」、つまり人物の様々な感情のあり方を描く名人と言われています。この他に、自画像も展示されています。



レンブラント《笑う男》

今回の「マウリッツハイス美術館展」はとても素晴らしく、歴史的名画の数々を一堂に見ることができます。おすすめです！。機会がある方はぜひ足を運んでください。なお、夕方16時頃に行けば、並ばず比較的ゆっくりと鑑賞できます。

http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/institutio/n/museum/tokuten/2012_03mauritshuis.html

～～イベントのご紹介～～

『福翁自伝』を多角的に読む

10月13日、『福翁自伝』を多角的に読むという講座が慶應大阪リバーサイドキャンパスで開講しました。この講座は、福澤研究センターの所員・客員所員が、それぞれの関心に基づいて『福翁自伝』の特定の部分を取り上げ、そこに書かれていること、さらに書かれていないことから、本書がどのように読めるかを受講者の方たちと一緒に考えていくこととするものです。

本講座の第3回において神戸慶應倶楽部曾野洋会員が講師をされます。時間の許す方は是非、本講座にご参加下さい。

講 師：曾野洋会員

(四天王寺大学教育学部教授
福澤研究センター客員所員)

テーマ：福澤諭吉と教育ベンチャー

－ 西洋流の一手販売 －

日 時：2012年12月15日(土)
14時～16時(開場13時)

場 所：慶應大阪リバーサイドキャンパス

定 員：60名

受講料：3000円(税込み)

複数講座を申し込むと割引があります

その他詳細は、Webでご確認いただくか、電話(06-6450-1030<平日9時30分～17時30分>)にてお問合せ願います。

～～今後の行事予定～～

11月例会は休会です。

12月8日(土) クリスマス家族例会

1月10日(木) 福澤先生誕生記念祝賀会

1月23日(水) 新年例会

～～クリスマス家族例会のお知らせ～～

日時：2012年12月8日(土)

18時～受付／18時30分～開始

場所：神戸銀行倶楽部

会費：メンバー 8,000円／ビジター 9,000円

家族(高校生以上) 8,000円

家族(小中学生) 5,000円

家族(小学生未満) 無料

ご家族も一緒に、神戸ルミナリエの夜に楽しいひと時をお過ごしいただく会員交流のパーティーです。恒例のオークションを開催致します。

**皆様、オークション商品をお一人一点以上ご提供
よろしくお願い致します！！(前例：宿泊チケット、お酒、家電、DVDなど。)**

普段、行事に出席できない方、遠隔地の方も本誌面に登場していただけます。奮ってご参加ください。皆さんの投稿お待ちしております。

編集後記
○朝晩冷え込んで参りましたが、如何お過ごしでしょうか。年賀葉書が売り出されるなど、早くも気忙しい感じがちですが、心に余裕を持って過ごせればと思います。
来月8日は家族例会です。年の終わりに、皆様で良い時間を過ごしましょう。
(宮田沙織)